



令和2年6月定例会

有田町 議会

だより

No54

やさしく元気な
「ルンビニー」っ子！

コロナ対策審議

- 令和2年度一般会計補正予算（第1号） P2
21億1,335万円を増額補正
総額135億8,735万円に ※5月専決処分
- 令和2年度一般会計補正予算（第2号） P3
7,104万円を増額補正
総額136億5,839万円に
- 委員会報告 P5~
- 決議・要望書 P10



幼保連携型認定こども園 ルンビニー幼稚園

令和2年7月31日 発行

令和2年6月議会は、6月2日から12日まで11日間の会期で開催されました。

*5月専決処分 令和2年度有田町一般会計補正予算(第1号) 令和2年度 一般会計予算21億1,335万円を増額 総額135億8,735万円に。

主な事業として、新型コロナウイルス感染症対応の経済支援策「第1弾」として、Web有田陶器市開催支援事業(送料支援)や肥育牛農家支援事業などを増額補正しました。

*専決処分…地方自治法第179条の規定により、町村長が、議会の議決すべき事件(提出議案)について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めるとき。但し専決処分をした場合は、次に招集される本議会や臨時議会において報告をし、承認を求めなければならない。

(単位:万円)

事業名	内 容	補正額
Web有田陶器市開催支援事業	4/29～5/5実施のWeb有田陶器市の送料を町が支援	8,700
飲食店応援事業	有田あうちごはんイエニヨウ(1,214万円)キャンペーン(20%相当分補助)、事務費等	1,300
肥育牛農家支援事業	出荷頭数1頭当り5,000円補助	228
公共交通緊急支援事業	タクシー事業者の保有車両台数1台当り1万円を支援	30
子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	子育て世帯臨時特別給付金、事務費等	2,787
特別定額給付金給付事業	特別定額給付金(町民一人当り10万円)、事務費等	198,590

特別会計補正予算 (第1号)

○特別会計

国民健康保険特別会計 100万円
(傷病手当金支給事業)

目 次										
森 監 査 委 員 コ ー ド	議 会 に お け る 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 対 応	ゆ い た ん 視 察	決 議 ・ 要 望 書	本 会 議 ・ 質 議	委 員 会 報 告	委 員 会 報 告	委 員 会 報 告	議 案 の 審 議 結 果	令 和 2 年 度 補 正 予 算 (第2号)	令 和 2 年 度 補 正 予 算 (第1号)
					総 務 常 任 委 員 会	文 教 厚 生 常 任 委 員 会	産 業 建 設 常 任 委 員 会			
P12	P11	P10	P9	P8	P7	P6	P5	P4	P3	P2

令和2年 第9回定例会（6月議会）

「6月補正予算 令和2年度有田町一般会計補正予算(第2号)」
**令和2年度 一般会計予算に7,104万円を増額
 総額136億5,839万円に。**

主な事業として、新型コロナウイルス感染症対応の経済支援策「第2弾」として、町内事業者（農業含む）に対する事業継続支援や玉ねぎ生産緊急支援策などを増額補正しました。

(単位：万円)

事業名	内 容	補正額
有田町事業者緊急支援給付金事業	町内事業者(農業含む)を対象に、事業継続のための給付金(法人15万円、個人事業者10万円)を支給	12,775
玉ねぎ生産緊急支援事業	令和2年4月～10月の出荷分1kg当たり10円の支援	426
新型コロナ対応緊急対策事業	学校再開に係わる対応として感染防止拡大のため、保健衛生品等整備(各小中学校にマスク、消毒薬、体温計)	51
新型コロナウイルス感染症対応衛生事業	大人用サージカルマスク10万枚、子供用1万枚、手指消毒液500本購入費用	649
新型コロナ対応緊急対策事業	学校行事の際の換気、マスク着用時の児童・生徒の熱中症対策のため各小中学校体育館に大型扇風機を配備	39
障害児福祉サービス事業	コロナ禍による学校臨時休業に伴う、放課後等デイサービスの利用増加による利用者負担額増額の支援	9
GIGAスクール構想事業	小学1年～中学3年の児童・生徒を対象に「一人一台端末環境」に対応するための整備(端末1,100台)	6,600
社会資本整備総合交付金事業	道路橋梁新設改良費(南原原宿線道路改良事業)	△6,500
交通安全対策補助事業	下舞原松葉線(工事請負費)	△3,010

特別会計・企業会計補正

○国民健康保険特別会計 33万円 (国民健康保険被保険者証作成業務委託料他)

○水道事業会計 855万円 収益的支出(原水浄水費、配水給水費)
 1億5,030万円 資本的収入(建設改良企業債)
 1億8,894万円 資本的支出(配水管布設費、浄水施設費)

令和2年第9回定例会における議案の審議結果

議案番号	提 出 議 案	審議の結果
報告第1号	令和元年度有田町土地開発公社会計決算の報告について	賛成全員
報告第2号	令和元年度有田町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	賛成全員
報告第3号	令和元年度有田町公共下水道事業会計繰越計算書の報告について	賛成全員
報告第4号	令和元年度有田町農業集落排水事業会計繰越計算書の報告について	賛成全員
報告第5号	令和元年度有田町水道事業会計繰越計算書の報告について	賛成全員
議案第39号	専決処分(有田町税条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	賛成全員
議案第40号	専決処分(有田町介護保険条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	賛成全員
議案第41号	専決処分(令和2年度有田町一般会計補正予算(第1号))の承認を求めることについて	賛成全員
議案第42号	専決処分(有田町国民健康保険条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	賛成全員
議案第43号	専決処分(有田町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	賛成全員
議案第44号	専決処分(令和2年度有田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号))の承認を求めることについて	賛成全員
議案第45号	有田町監査委員の選任について	賛成全員
議案第46号	有田町固定資産評価員の選任について	賛成全員
議案第47号	令和元年度有田町公共下水道事業会計決算認定について	賛成全員
議案第48号	令和元年度有田町農業集落排水事業会計決算認定について	賛成全員
議案第49号	令和元年度有田町浄化槽整備推進事業会計決算認定について	賛成全員
議案第50号	令和元年度有田町水道事業会計決算認定について	賛成全員
議案第51号	有田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第52号	有田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第53号	有田町介護保険条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第54号	令和2年度 有田赤坂球場改築に伴う解体工事請負契約の締結について	賛成全員
議案第55号	町道路線の認定について(仏ノ原地区の町道下迎原2号線)	賛成全員
議案第56号	令和2年度有田町一般会計補正予算(第2号)について (反対討論) 新型コロナウイルス感染対策事業者緊急支援事業には農業者も含めるべきで、除外した原案には反対する。(池田議員)	賛成多数 賛成14人 反対1人
議案第57号	令和2年度有田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	賛成全員
議案第58号	令和2年度有田町水道事業会計補正予算(第1号)について	賛成全員
決議第1号	新型コロナウイルス感染症対策の総合的な取組を求める決議	賛成全員

※各議案は、関係委員会で予備審査をして本会議に付されます。予備審査の詳細は委員会報告をご覧ください。

産業建設常任委員会

(委員会構成議員 5人)

委員長 梶原 貞則
副委員長 久保田 均

▼(議案第47号) 令和元年度 有田町公共下水道事業会計決算認定

原田委員 前年度と比べて、特別損失は改善されている。未収金は年々増えている。具体的な対策は、

上下水道課長 特別損失は漏水減免、不能欠損があり、受益者負担金の不能欠損は不動産の競売、自己破産、住所不明が主な理由である。未収金対策としては、個別に相談の対応をしていく。

(採決の結果) 賛成全員

▼(議案第48号) 令和元年度 有田町農業集落排水事業会計決算認定

梶原委員 農業集落排水事業を含め、汚水3事業の推進について、接続していない理由等のアンケート調査を実施し、現状把

商工、環境、農林、土木建設、上・下水道、農業集落排水、浄化槽、宅地分譲などに関することについて審議します。

握をしてはどうか。また町独自の住宅リフォームの補助制度等行い、上下水道課だけでなく、他の課も含め役場全体で推進してはどうか。

上下水道課長 いろいろな条



▲公共下水道の推進工事のようす (コブラ工法)

▼(議案第50号) 令和元年度 有田町水道事業会計決算認定

久保田委員

水道事業は、全国的には民営化の話もある。有田町は以前に、公営独自で運営していくと聞いたが、他の運営方法も考える時期にきているのではない。

上下水道課長

これは全国的な問題で、県としても広域化を視野に入れた対策を考

件があり、大幅な改築が必要の場合もあるので、何らかの補助で実施できるものがあるのかを調査、検討する必要もある。役場の中全体でも話をしていきたい。

(採決の結果) 賛成全員

えている。有田町の広域化の検討は伊万里市、唐津市、玄海町を一つのブロックとして、今後取り組んでいく予定。民間の力を借りるのも、一つの方法と考える。

原田委員 監査委員意見書に経費削減や人材育成の課題について述べてあるが、町としては今後、具体的にどのような目標を立てて、どのようなスケジュールで取り組んでいくのか。また、新規職員に簿記の資格を持った人を採用してはどうか。

上下水道課長 職員にはスキルアップについて指導を行っている。

副町長 職員採用においては、今後はいろんな資格を持つ人が必要になってくる。簿記に限らず、さまざまな資格を持った人材を採用していきたい。

(採決の結果) 賛成全員

▼(議案第56号) 令和2年度 有田町一般会計補正予算(第2号)

立部委員 さが園芸生産8

8 8 億円推進事業の増額の理由は。

農林課長 きゅうりハウスの新設事業の分。当初予算で要求していたものが、県の補助上限額が4月に引き上げられたため、県費と町費の増加分を補正した。総事業費は当初から変わらない。

立部委員 玉ねぎの補助金申請の説明を。

農林課長 基本的には出荷経費で検討している。詳細については、今後調整していく。

(採決の結果) 賛成全員

次の議案は賛成全員で可決しました。

▼(議案第49号) 令和元年度 有田町浄化槽整備推進事業会計決算認定

▼(議案第55号) 町道路線の認定について

▼(議案第58号) 令和2年度 有田町水道事業会計補正予算(第1号)

文教厚生常任委員会

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関することについて審議します。

（委員会構成議員 5人）

委員長 今泉藤一郎
副委員長 蒲原多三男

▼（議案第54号）令和2年度

有田赤坂球場改築に伴う解体工事請負契約の締結

諸限委員 球場近隣にヒアリングを行い、事故等を防ぐような対応を。

生涯学習課長 今後、防球ネット対策等は外構工事の中で対応していく予定。

藤委員 国民スポーツ大会に向けた事業でもあり、国や県への補助金要求は。

生涯学習課長 本体整備とグラウンドの整備について、中央競技団体から指摘された部分の工事や、ユニバーサルデザインに係るトイレ工事には、県から2分の1補助が付く。

2900万円ほど申請している。

（採決の結果）賛成全員

▼（議案第56号）令和2年度

有田町一般会計補正予算（第2号）

諸限委員・藤委員

新型コロナウイルス感染症対応衛生事業の内容と衛生用品の現在の状況は。

健康福祉課長

新型コロナウイルスの地方創生交付金を活用し、災害時や冬場の対応として衛生用品を購入するもの。大人用マスク10万枚と子ども用マスク1万枚、手指消毒液等を500本購入予定である。

現在の備蓄は、サージカルマスクが1万枚強あるが、更に購入する予定。ガウンは有効期限切れだが2820着、防護服は570着、手指消毒液が30本。近々の購入計画は、サージカルマスク3000枚、手指消毒液50本、非接触型の体温計30本を予定。

諸限委員

GIGAスクール構想事業で指導者の育成、配備やルールは、ど

のように対応してくか。

学校教育課長 端末を一人1台導入し、将来的には

家庭でオンライン授業ができることを目指している。指導する人材育成が必要で、現在ICT支援員が2人いるが増員を目指したい。

福島委員 低学年はタブレットを扱えるのか。

教育長 低学年は、特に段階を踏んで今年度いっばいに環境をしっかりと整えた上で、全部の学校が同じ歩調で始めていきたい。

藤委員 インターネット環境が整っていない家庭の子どもへの対応は。

教育長 経済的なこともあるので、環境がない家庭の子どもは学校に来てもらって対応する。

諸限委員 中学校への防犯カメラの設置の説明を。

学校教育課長 小学校は既に設置済みで、中学校2校に3台ずつ設置する予定。

藤委員 今回の夏休みの短縮によって、授業の遅れをどれくらいカバーでき

るか。

教育長 コロナウイルスの影響で小・中学校の授業の不足分は70時間ほどで、夏休み期間中に13日間授業を行う。

蒲原委員 最近は朝からも、猛暑の日があり、学校では夏の通学時の熱中症の注意喚起を充分にするべき。

教育長 教室にエアコンは設置しているが、登下校時の水分補給など熱中症対策はしっかりとしていく。

（採決の結果）賛成全員



▲乳幼児の利用もあり、とても良い雰囲気の「ゆいたん」

▼（議案第57号）令和2年度

有田町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

今泉委員

国保の保険証とマイナンバーカードの関係について説明を。

健康福祉課長

今後、マイナンバーカードが保険証の代わりに利用できるようになるため、今回の保険証送付の際に、カード取得促進の案内用リーフレット等を同封することにした。

（採決の結果）賛成全員

次の議案は賛成全員で可決しました。

▼（議案第51号）有田町特定

教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

▼（議案第52号）有田町家庭

的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

▼（議案第53号）有田町介護

保険条例の一部を改正する条例

総務常任委員会

(委員会構成議員 6人)

委員長 古賀 四郎

副委員長 松永 俊和

▼(議案第56号) 令和2年度
有田町一般会計補正予算
(第2号)

歳入

池田委員 町の事業者緊急支援給付金事業は「本年3月から7月までの前年同月比で20%以上の減少」とされ、対象期間が短い上に、中小企業信用保険法を適用して、農業者を対象外としている理由の説明を。

副町長 議案質疑の際、事業者支援について農業者をなぜ外すのかという質問があったので、現在執行部で農業者を含めて対象とするように検討をしている。対象期間が短いという点については、新型コロナの影響で緊急的に町独自で支援するものであるため、期限を設定している。

総務に関するところ、他の委員会に属しないところ、全般について審議します。

池田委員 農業者の3月から7月までの被害の状況は把握されているのか。

は把握されているのか。月で20%以上の減収の把握はなかなか難しく、短期間ではわからない。

副町長 定期的に販売をされている方は常時収入があると思う。今は、商業も農業も減収があった方に支援をしようと考えている。

池田委員 農業者も含めるということと理解する。有田町の今回の事業では、



▲新型コロナウイルス感染症対策として、ゴールデンウィーク中、竜門キャンプ場駐車場や町内に設置された看板。

要件が中小企業信用保険法に基づく事業所という表現であったため、農業者が除外された形になった。農林漁業者は、自分たちは対象にならないと思っている。制度を見直す事になれば、町は指導と説明をしてほしい。

副町長 周知に関しては、議会の議決を経たあとに正式に行っていくたい。

松永委員 事業者支援の関連で、一定の条件を満たせば開業から一年に満たない事業者も対象とあるが内容の説明を。

副町長 開業して間もない

方は、前年度の比較ができないので、最近の売上の状況や計画等を見て個別に判断する。

中島委員 各家庭に国よりマスクの配布があったが、町民から寄付の申し出があった場合はどう対応しているのか。

総務課長 寄付の申し出はまだあっていない。もし相談があれば検討していきたい。

歳出

樋渡委員 企画費の一般コミュニティ助成事業補助金の説明を。

まちづくり課長 令和2年度実施予定のまつり衣装の補助金を予算化した。

樋渡委員 電子計算費の中に光回線修繕工事とあるが内容の説明を。

財政課長 工事内容は敷設した光回線に樹木が接触して、一部破損した部分を修理する予定。

中島委員 マイナンバー事業に関連して、申請する場合、マイナンバーカードが必要になると思う

が、カード加入状況の説明を。

住民環境課長 令和2年5月末現在で交付率が13.3%。

中島委員 マイナンバーカードを使つての特別定額給付金の申請者数は。

住民環境課長 110件程度。

池田委員 職員の取得率は。住民環境課長 令和元年12月末現在で約25%。

池田委員 職員の取得率が少ない。町民に行き渡らせるためにも、全職員に取得を徹底させてほしい。

副町長 マイナンバーカードについて、公務員は早め取得するように国からも指示は来ているので率先して取得するように職員へ指導をしたい。

中島委員 消防団広報誌については町単独か。

総務課長 この広報誌は県の補助もあり、消防署で作成し、全戸配布を行う。(採決の結果) 賛成多数

本会議 議案質疑

本会議での議案の質疑について一部を掲載する。

本会議で一般質問を中止

新型コロナウイルス対策で執行部や職員の業務が増加した点を考慮し、町と議会双方協議のうえ、一般質問を中止した。

▼専決処分（令和2年度有田町一般会計予算（第1号）の承認

中島議員 専決処分に柔軟性を持たせてはどうか。

町長 もう少し研究させてほしい。

立部議員 肥育農家支援事業の進捗状況と追加検討を。子育て世代への臨時特別給付金の進捗状況は。

農林課長 3月の実績51頭、4月から7月出荷計画数の8割分を今月上旬に振り込む予定。長引くようであれば期間の延長等も考慮する。

子育て支援課長 対象者1,278人について5月29日に支払いを終えている。

池田議員 5月8日に議会が

開催されているのに専決されている。また国の支援である交付金を業界に8割も支援するが、専決処分で妥当であったか。

町長 妥当であったと思う。

梶原議員 Web有田陶器市の実績を。また、「イエニイヨウキャンペーン」の予算について説明を。

商工観光課長 約3万件超の申し込み数。送料については、平均1000円から1200円位ではと考えている。「イエニイヨウ」事業は予備費より300万円を、専決で1000万円の合計1300万円の事業となった。

梶原議員 Web有田陶器市の予算が余れば第2弾、第3弾の陶器市開催を。

商工観光課長 Web有田陶器市の反省を踏まえて検討する。

樋渡議員 定額給付金で、DV被害者等からの受け取り不安等の相談はないか。ま

た休校期間中のDV被害等の事例はないか。

住民環境課長 2件の相談があっている。

教育長 14日より学校が再開して健康診断等行っているが、被害の報告はない。

古賀議員 Web有田陶器市の売上には、波佐見焼もそれなりに含まれていたようだ。波佐見町と協議してWeb有田陶器市をしてはどうか。

町長 波佐見町と検討する。

諸隈議員 今回の陶器市の反省点を検証して公開してはどうか。

町長 全ての方にオープンにする。

諸隈議員 有田町のポータルサイトを作れるか。波佐見町と連携する方向性を。

町長 波佐見町長とは、情報交換しているので今後もタッグを組みたい。

▼専決処分（有田町国民健康保険条例の一部を改正する条例）の承認

樋渡議員 就労できなかったことに対する給付か。健康福祉課長 コロナウィル

スに感染入院やコロナ疑いで休んだ場合の分。

▼令和元年度有田町浄化槽整備推進事業会計決算認定

藤議員 非常に厳しくなる汚水3事業をどのように運営するつもりか。

町長 議会と協議して研究検討を進めていく。

▼令和元年度有田町水道事業会計決算認定

中島議員 事業は50年以上経っている。今後の計画や目標数字があってもいいのでは。

森監査委員 今後の見通しとしてはそのような計画が必要かと思う。

中島議員 試算表のような今後の計画があればわかりやすいと思うが。

森監査委員 町が責任を持つのが公営企業だと思う。汚水3事業においても、資金不足が発生した場合、一般会計からの繰り入れが少し安易になっているように思うが、今はそれをしないと運営できない。

池田議員 意見書で指摘され

ている人材育成を執行部はやっているのか。今後の計画を。

上下水道課長 簿記の資格を持つっている職員は数人いる。課としても、推進を検討中。

町長 積極的に人材育成を進めていく。

池田議員 汚水料金、水道料金ともに見直す時期ではないか。委員会諮問を願う。

上下水道課長 料金改定については、今年度分析するよう計画している。

樋渡議員 庭に散水した下水道料金は別にできるか。

上下水道課長 下水に入らない水道量が極端に多いところは、子メーターをつける等対応はできる。

樋渡議員 食器洗浄で井戸水を使いたい方もいるが、子メーター設置はどの位かかるか。

上下水道課長 一度、上下水道課に相談してほしい。

▼有田町介護保険条例の一部を改正する条例

池田議員 第1段階から第3段階まで軽減されるが、そ

の補填措置は。

健康福祉課長 軽減の補填は国が2分の1、県が4分の1、町が4分の1の負担となる。

▼有田赤坂球場改築に伴う解体工事請負契約の締結

梶原議員 解体が7月からで終了まで使用不可か。

生涯学習課長 令和3年12月完成予定で、その後、使用可能。

▼令和2年度有田町一般会計補正予算(第2号)

池田議員 農業者支援で660万円。玉ねぎ生産者は何人か。

農林課長 今年度作付け者は約50人。

池田議員 有田町事業者緊急支援事業給付金事業に農業者は含まれるか。

商工観光課長 農業者は含まれない。

池田議員 国の持続化給付金には農業も入っている。なぜ農業者を外すのか。

町長 中小企業の線引きが必要なため、中小企業信用保険法を使っている。

池田議員 税務申告ではいけ

ないのか。

町長 期間限定のため該当しない部分がある。

池田議員 農業界には660万円、業界には6400万円。継続して所得を上げている方は全て事業者である。農業者も対象にすべき。

町長 全ての課に困りごとがある人を把握するよう指示をしている。

池田議員 共立病院及び特別養護老人ホームの支援をどうするか。また、避難所の感染症対策はどう考えているか。

町長 コロナ感染症指定病院になっているので、国や県にも補填等を相談中。災害時の対策は現在検討中。

中島議員 第2次のコロナ臨時交付金はどのくらいになるのか。

まちづくり課長 13日以降にならないと見えない。

梶原議員 学校の休校対策はどうなっているか。

教育長 夏休みを短縮する。

梶原議員 ウェブの授業ができる環境づくりは。

教育長 環境を整え、教員のスキルアップを図り、早め

に進めていきたい。

古賀議員 国へ提出する実施計画の提出と交付金の交付時期はいつか。

まちづくり課長 6月いつばいで実施計画を提出予定。交付金の配布はもつと後になる。

古賀議員 執行部で協議し、国へ提出でよいか。

まちづくり課長 影響度の実態を把握中。その後、計画策定予定。

蒲原議員 マイナポイント事業の概略の説明を。またマイナンバーカードの所有者の動向は。

総務課長 マイナポイントの活用により消費の活性化、マイナンバーカードの普及促進、官民キャッシュレス基盤の構築を目的とする。

住民環境課長 給付金申請にマイナンバーカード利用者は110件程度。普及率は13・3%。

立部議員 全国大会出場補助金が増額された理由は。

生涯学習課長 文化的な大会も行われるようになったため、社会教育費に組み替えた。

松永議員 GIGAスクール構想費が今回また予算計上されているか。

財政課長 3月議会の分はネットワーク環境整備費。今回の分は端末の購入費及び設定費用。

松永議員 街路事業の説明を。上有田の佐賀銀行のところに地上機を設置するといふ話は本当か。

まちづくり課長 街路事業は、電線地中化事業の負担金。地上機は裏手に置くようになった。

松永議員 電線地中化は予定通りいくのか。

まちづくり課長 先月、内山地区には工事の協力依頼を回覧した。

今泉議員 コロナウイルスの影響で納税の延期、生活保護、準要保護の申請相談の状況は。

税務課長 町税の徴収猶予については、5月末で815万5700円の申請が出ています。

健康福祉課長 生活保護申請の相談は増えていない。

教育長 準要保護について、増えている状況にはない。

原田議員 コロナ感染児童への対応と心のケアは。

教育長 学校が迎える準備を事前に行っていてうまく馴染めたと報告があった。

▼令和2年度有田町水道事業会計補正予算(第1号)

今泉議員 伊万里市への水道管が町道、農道の下を通っているが、占有許可を出しているのか。

上下水道課長 占有許可については伊万里市に確認する。

樋渡議員 ろ過装置に1億6000万円かかるが、交換の理由は。

上下水道課長 老朽化により交換である。

樋渡議員 別のものとの交換の検討はしたのか。

上下水道課長 別の物と交換となると建物からの交換となり金額が大きくなる。

新型コロナウイルス感染症対策に関する決議、要望書を提出しました

新型コロナウイルス感染症に関して、全町民への支援を求め、町議会から町へ決議（全議員署名）と要望書を提出しました。

決 議

決議とは………議会の意思を対外的に表明することが必要だと考えたものを議決すること。

新型コロナウイルス感染症対策の総合的な取組を求める決議

新型コロナウイルス感染症は、急速な勢いで世界に拡散しており、世界保健機関（WHO）も「パンデミックと言える」との認識を示し、世界的な脅威となっている。わが国においても、連日、感染者が確認され、一部地域において小規模な患者の集団、いわゆるクラスターが発生しており、事態の終息が見通せない状況となっている。

これに対し、国や県においてさまざまな経済対策が出されており、当町においてもWeb有田陶器市や飲食店への支援等が行われているが、有田陶器市の延期や農業関係をはじめとする他の産業等、あらゆる分野での経済的な弊害が噴出しており、その影響は図りしれない。

このような状況をふまえ、下記項目について早急な対応を求める。

記

- ・町民に、一定額の給付金を支給すること。

以上、決議する。

令和2年6月5日

有田町議会

有田町長 松尾 佳昭様

⇒ 結果

6月5日、定例会本会議にて提出し、即日可決された。これに対し、町として、「全町民に対し商品券」の配布を考えているとの回答でした。

（7月8日臨時議会にて、全町民に商品券5,000円配布と決定）

要望書

また、新型コロナウイルス感染症対策として、下記の要望内容を町に提出しました。

1. 令和2年度における給食費の無償化の検討
2. 肥育農家の助成金見直しによる上乗せと農産品価格の暴落による損害補助
3. 町内出身の大学生（短大等含む）への支援
4. Web有田陶器市の成果をふまえ、来年以降、窯業・農業を網羅した有田ポータルサイト作成への支援
5. 町内小中学校のオンライン授業の推進



▲町長に決議書及び要望書を提出

多世代交流センター「ゆいたん」

みんなが集い、つながる場所。子どもから高齢者まで様々な世代が利用できる多世代交流センター「ゆいたん」。学びに、遊びに、おしゃべりに。たくさんの出会いがあります。

1) 子育て支援センター『ちろりん』

「ちろりん」では、イベントの他に子育ての相談や、セミナーも開催され、ミニシアターも行われています。
利用日時 月曜日～金曜日 午前9時～16時

2) 介護予防教室「ソラシドくらぶ」。

脳トレ教室は皆さんが楽しんで参加できる、簡単な計算や数字並べやパズルなどテキストを使つての教室です。
開催日時 月曜日～木曜日 午前10時～11時30分

3) 「にじいろカフェ」

コーヒーなどカフェメニューの他に、お昼はダシにこだわり地産地消の素材を使った、日替わりのランチメニューがあります。

利用時間 11時30分～14時（ランチタイム） 午前9時～16時（カフェタイム）



▲子育て支援センター『ちろりん』



▲介護予防教室「ソラシドくらぶ」

議会における新型コロナウイルス対応

◎臨時議会

5月8日に開かれた臨時議会では、新型コロナウイルス感染症対策として、議場内の議員座席配置を変更した。通常、傍聴席である議場後方に会議用の机を配置し、議員席が密にならないよう十分な間隔を確保して執り行った。



▲議場内の議員座席配置

◎全国町村議会議長会会長 Web会議へ出席

全国町村議会議長会会長を務める松尾議長は、「国と地方の協議の場」のWeb会議に出席した。通常は、東京で開催される会議だが、新型コロナウイルス感染症の影響により、テレビ会議での参加となった。全国町村議会議長会会長として、地方創成臨時交付金の拡充の要望を述べる場面では、陶器市の延期やWeb有田陶器市の開催の話を交えながら発言した。



▲Web会議のようす（写真中央 松尾議長）

退任のご挨拶



森 日出生 監査委員

新しい有田町が誕生間もない平成20年8月、有田町の監査委員に選任して頂き、以来3期12年の長きに渡り、その職を務めさせて頂きました。が、8月の任期満了をもって退任することになりました。省みますと就任直後の平成20年9月の議会に初めて出席要請を受け、議場に入った時、当時の田代議長（のちの町長）さんより、「この議場は小さいとは言え、有田町と町民の将来を審議し、決定する権威のある神聖な場所です。礼節と敬意をもって入って下さい。」との言葉を頂き、常に議場には、その言葉を思い出しながら入っております。

また監査委員としての職責を果たすため、監査委員の資質と監査能力の保持に常に意

を注ぎ続けた12年でもありません。

監査を実施するにあたっては中立、公平、公正という監査の基本姿勢を貫くため「町民の立場」「町民の目線」ということを常に心がけてきたつもりですが、町民の皆さまの期待に充分応えられたかどうか確たるものではありません。

このような監査を滞りなく実施することができましたことは、歴代の議会選出の監査委員さんや事務局長をはじめとする職員の方々のご協力とご支援のおかげだと感謝申し上げます。

また、この12年間で、会計の方向性も大きく変わってまいりました。一般会計の「公会計」においては、現金の出納監査から民間企業が採用している企業会計の意図する結果（決算）重視の方向に変わってきております。同様に、公営企業会計も民間企業会計に近づき、結果重視がより強く求められる様になっております。

議会においてもこの事を充分理解して頂き、予算の審議と同様、決算の審議にも力を

注いで頂くことを望みます。近年、自然災害が多発し、

生命がおよびやかされ、財産に大きな損害を与えています。また、少子高齢化、人口減少という過去になかったことが当たり前の社会となっております。その上、今年は新型コロナウイルスによる死亡者や感染者が出て日本だけでなく世界的に経済活動や日常生活に大きな影響を与え、混乱しております。

このように想定外の災害が毎年発生するような地球環境となっており、これらに素早く対応し、町民の生命や財産



▲6月定例会で意見を述べる森監査委員

を守るのは行政や議会の責務であります。

行政と議会は、車の両輪に例えられますが、協調しながらも常に緊張感を持って、有田町と町民のために活動されることを期待します。

最後になりましたが、貴重なこの議会だよりの紙面に、この様に挨拶の機会を与えて下さいました、松尾議長をはじめ議員の皆さま方のご配慮に厚くお礼申し上げ、退任の挨拶とさせて頂きます。

議会傍聴について

本会議を傍聴することができます。ご希望の方は議会事務局へお問い合わせ下さい。 ☎46-2117

■議長交際費支出状況(令和2年4月～6月)

項目	件数	支出額	備 考
雑費	1	5,000円	東地区戦没者追悼式供花料
合計	1	5,000円	



コロナウィルス禍で大変な状態である。どこに行くにもマスク着用である。

議会も執行部との協議で一般質問を行わないことになった。議会、代わりにも本会議の質疑事項を掲載している。本会議の熱気が伝わればと思う。学校も再開し、休校時の授業を取り戻すべく夏休みの短縮を計画されている。暑い時期の授業は大変だろうと思うが、幸いにも有田町は、昨年全校エアコンの設置を終えている。

新型コロナウイルスが一日も早く終息することを祈る。
(正則)

議会広報発行特別委員

委員長 福島日人士
副委員長 古賀 四郎
委員 諸隈 洋介
委員 岳川 淳彦
委員 樋渡 徹
委員長 立部 正則